

■ 整備着手路線

短期着手路線

今後5年程度で事業着手を予定する区間です。

番号	路線名	区 間	幅員 (m)	延長 (m)	事業期間
A	(市) 東萩間1号線	(市) 大曲布引原線～ (市) 中原布引原線	8m	450m	5年
B	(市) 黒子静波線 (後川橋)	後川橋～ (市) 道場9号線	8m	260m	5年
C	(市) 大江東中線 (東中橋区間)	(市) 相良1号線～ (市) 大江男神線	10m	80m	5年
D	(市) 須々木大溝線	(市) 地頭方波津線～ (国) 150号	11m	140m	5年

中期着手路線

短期着手路線整備完了後の事業着手を予定する区間です。

番号	路線名	区 間	幅員 (m)	延長 (m)	事業期間
E	(都) 中央幹線	【西工区】 湊橋付近～(県) 菊川榛原線	12m	920m	5年
F	(都) 天の川大江線	(市) 相良1号線～ (都) 川向御天所線	16m	490m	5年
G	(都) 川向御天所線 (大江地区)	(都) 天の川大江線～ (都) 江湖田線	12m	880m	5年

■ 今後に向けて

今後の道路整備の推進にあたっては、限られた道路整備予算における、道路整備と維持・管理・改良の適正なバランスに配慮しながら、毎年個々の事業の進行状況を把握し、道路整備プログラムの見直しを図りながら管理していきます。



牧之原市 道路整備プログラム

■ 道路整備プログラムとは

牧之原市内の主要道路において、今後整備すべき区間の優先順位を明らかにするため、牧之原市が平成18年度に策定した「牧之原市道路整備プログラム」の見直しを行うとともに、道路整備の必要性を客観的に評価し、牧之原市における道路整備事業の透明性を確保することを目的とするものです。



整備基本方針

道路整備のビジョン

「NEXT まきのほら」へ “つなげる” みちづくり

東名高速道路、富士山静岡空港、御前崎港、それらをつなぐ地域高規格道路金谷・御前崎連絡道路（（国）150号バイパス、（国）473号バイパス）等恵まれた交通インフラを活かした道路ネットワークで市の内外を“つなぎ”、活力があり、若者が魅力を感じ、安心して暮らせるまちを支えるみちづくりで、本市総合計画に掲げる「絆と元気が創る 幸せあふれみんなが集う NEXT まきのほら」の実現に“つなげる”。

道路整備基本方針

- ・都市の骨格となり交流を促進する道路の整備
- ・安全で快適な生活を支える道路の整備

整備優先度評価の基本的な考え

1次評価（必要性評価）

- 国土交通省道路 IR サイトに示された「客観的評価指標」を参考に 21 の評価項目を設定し、必要性を評価します。
- 評価項目の評価点数は、市民意識調査の結果をもとに設定します。
 - 円滑なモビリティを確保する
 - 物流の効率化を支援する
 - 都市の再生に寄与する
 - 国土・地域ネットワークを構築する
 - 災害へ備える
 - 個性ある地域を形成する
 - 安全な生活環境を確保する
- 評価した路線を「都市計画道路」「その他市道」で区分し、それぞれの評価平均点を算定し、平均点以上となった路線について2次評価を実施します。

評価点数：平均点以上

評価点数：平均点未満

2次評価（実現性評価）

- 1次評価点数が平均点以上となった路線について、以下の行政の視点により事業の実現性を評価します。
 - 政策上の重要度
 - 道路整備上の関連性
 - 他機関との調整の必要性
 - 事業実施環境の熟度
 - 財政的な見通し

今後10年以内に着手を目指す

今後10年以降の着手を見込む

道路整備プログラム

短期着手

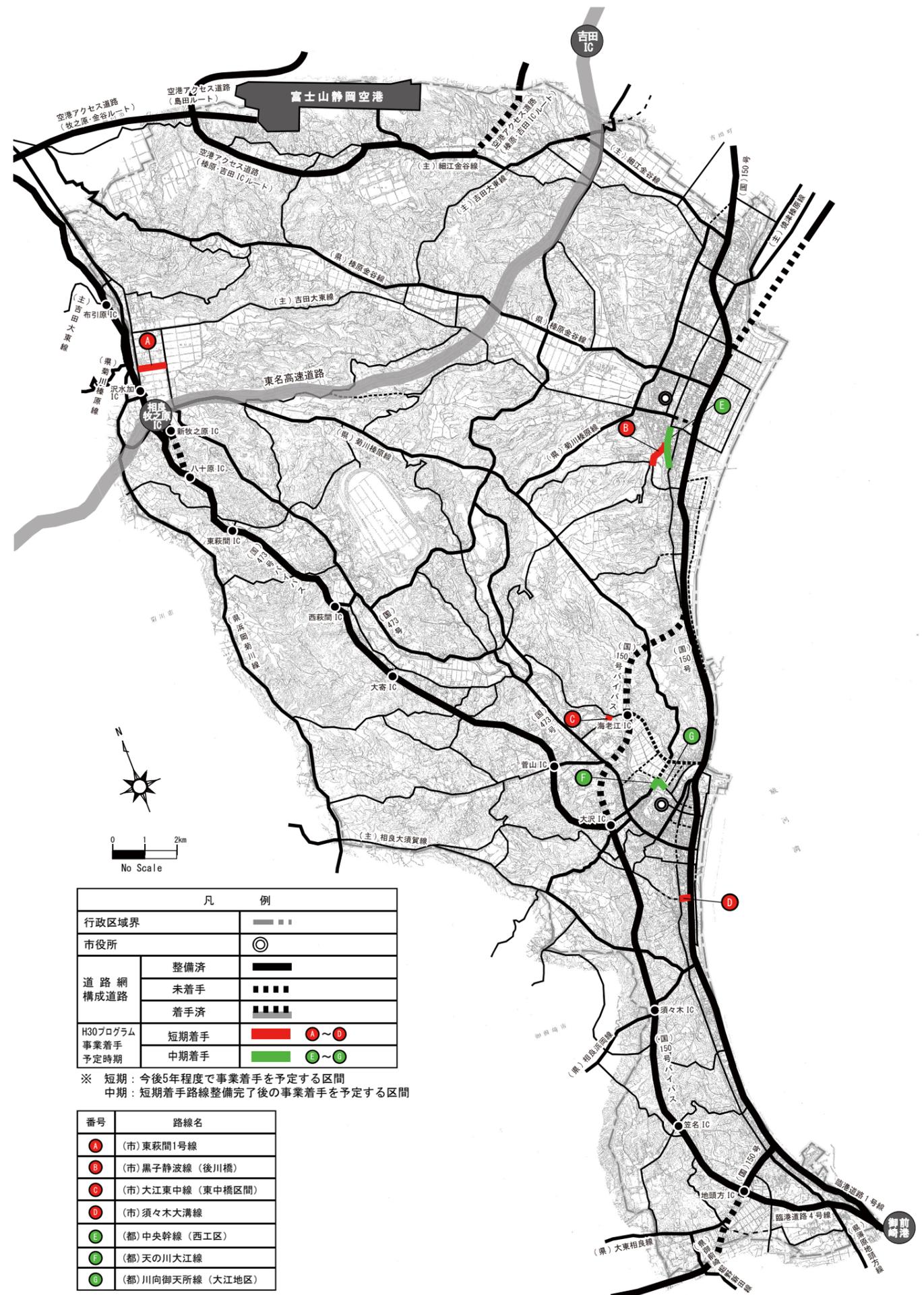
今後5年程度で事業着手を予定する区間

中期着手

短期着手路線整備後の事業着手を予定する区間

長期着手

短期着手、中期着手以外



H30 道路整備プログラム整備予定路線図